

2025年3月5日

東洋埠頭株式会社
代表取締役社長 原 匡史

2024年度の社会貢献活動の取り組みについて (東京支店、志布志支店・志布志東洋埠頭)

2024年度、東洋埠頭グループは様々な社会貢献活動を行いました。

4月には、東京支店吉井営業所の開設30周年を記念し、地元区長のご協力を得て桜満開の敷地を開放いたしました。当日は家族連れなど約60名が訪れ、お花見を楽しんでいただきました。来場者には保管貨物の飲料や上新粉で作ったお団子を振舞い、身近なブランドに関わる会社であることを知っていただく良い機会ともなりました。

8月には、志布志支店及び当社グループの志布志東洋埠頭株式会社で耕作放棄地を有効に活用し、栽培したお米の収穫時期を迎えました。作付けした「なつほのか」は収穫時期が早いうえ、暑さに強い特徴を持つ鹿児島県産のブランド米です。全国的な米不足が解消されない中、社会福祉協議会を通じ、子ども食堂や自立支援事業所に贈呈したところ、大変喜んでいただけました。

12月から1月にかけては、地元保育園、学童保育施設のお子さんたちと先生方、総勢73名をお招きし、にんじん収穫体験会を数回に分けて開催いたしました。当初は13名での開催でしたが地元から農業体験の貴重な機会だと要望され、活動の輪が広がりました。にんじんが上手く発芽せず、10アールの土地を丁寧に開墾するなど苦労はありましたが、子どもたちの笑顔は何より代えがたいものでした。

東洋埠頭グループは今後も地域社会への貢献とSDGs活動に取り組んでいきます。

以上



左：志布志支店長、右：社会福祉協議会会長



にんじん収穫体験会の様子